

様式 2

教 科
国 語

種 目
国 語

発 行 者
光村図書

調査項目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、小学校での学びを喚起させる単元を配列したり、第3学年古典の終末では高等学校での学びを意識させたりするなど、小中高の系統性が十分に配慮されている。 ・学期の一つ以上は「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動が位置付けられるとともに、既習の学習事項を生かせるよう十分に配慮されている。 ・「読むこと」では、「目標」「確認する・読みを深める・自分の考えをもつ」「学習の窓」「学習を振り返る」が明示してあり、自ら課題を解決していく学習過程が十分に配慮されている。 ・複合領域で3年間の学習を振り返る単元を位置付けるなど、各領域との関連が図られ、身に付けた力が生活で生かされるよう十分に配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を喚起するために、我が国を代表する作家や作品、情報に関する話題や社会生活に関連した教材を扱い、その量も無理なく指導できるよう配慮されている。 ・どの領域でも学びの手順を統一するとともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、学習過程で既習事項を確認する場を必ず設けるなど、学びを生かして学習できるよう十分に配慮されている。 ・本編では、語句調べや漢字練習を設定して基礎・基本の定着を図り、巻末資料では、練習問題を位置付けるなど家庭学習に配慮されている。 ・長期休暇前には、読ませたい長文作品の掲載や本の紹介だけでなく、「読書活動」や「読書コラム」を設け、豊かな読書生活を送れるよう十分に配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自立・共生・自己実現の内容を含む教材は各学年に配列されており、広く社会を見る目を養うために新聞の社説を教材として扱っている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・色による識別に頼ることなく、形や濃淡で識別することや判別しにくい色の組み合わせなどにも配慮されている。 ・巻頭の「学習の見通しをもとう」では、各領域の指導事項に基づいて身に付けたい力が視覚的に分かりやすく示されおり、生徒が見通しをもって学んだり、付けた力を振り返ったりできるよう十分に配慮されている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高の系統性のある教材の構成・配列、言語活動の種類や分量、具体的な学習過程、領域相互間の関連において、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。 ・学びの手順や流れの一貫性を重視した学び方の位置付けや、豊かな読書生活を送るための工夫により、主体的な態度の育成が図られるよう十分に配慮されている。 ・「地域社会人」の育成が図られる新聞等の教材が配列されており、また、学習の見通しがもてるための巻頭の工夫などにより、使用上の便宜が十分に配慮されている。